





大雪時の道路交通確保の対策方針 ~関係4者合同※で説明~

〇内容:

冬期に各地で大雪に伴う道路上の車両の大規模な滞留が発生し、その対応に長時間を要する事態が想定されます。この冬を迎えるにあたり、今回、人命を最優先に大規模車両滞留を回避する目的で、雪氷期における道路交通確保に向けた様々な取り組みを強化し、併せて、道路利用者や地域住民の皆様にその協力を呼びかけます。

関係4者(※中部地方整備局、中部運輸局、名古屋地方気象台、NEXCO中日本)

〇日時:令和4年11月25日(金)13:30~

〇場所:愛知県政記者クラブ会見場

○資料:資料1、資料2、資料3、資料4

〇配布先:中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、東海交通研究会

○説明者:

·中部地方整備局 道路部 道路情報管理官 今井 浩策

・NEXCO中日本 名古屋支社 保全・サービス事業部 企画統括 担当課長 宇都宮 尚史

•中部運輸局 総務部 安全防災•危機管理課 課長 坂野 弘幸

〇問い合わせ先

 〇中部地方整備局
 道路部道路管理課
 課長
 浅井
 洋二

課長補佐 石川 堅一

TEL: (052)953-8176

〇中部運輸局 総務部 安全防災·危機管理調整官 大久保 吉訓

安全防災・危機管理課 課長 坂野 弘幸

TEL: (052)952-8049

 〇名古屋地方気象台
 広域防災管理官
 中村 卓也

気象防災情報調整官 若杉 栄一

TEL: (052)751-5577

ONEXCO中日本 名古屋支社 総務企画部 広報・CS課

TEL: (052)222-1183

大雪時の道路交通確保の対策方針 4者合同記者説明会 (令和4年11月25日)

今冬の気象資料について

- 11月22日発表の3か月予報
- 気象台が提供する予測資料

名古屋地方気象台

3か月予報

令和4年11月22日発表

予報期間:令和4年12月~令和5年2月

のポイント

東海地方(12月~2月)

▶ 天 候

12月 平年と同様に晴れの日が多い。

岐阜県山間部では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多い。

1月 冬型の気圧配置が強く、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年

に比べ晴れの日が多い。

岐阜県山間部では、平年に比べ曇りや雪の日が多い。

2月 平年と同様に晴れの日が多い。

岐阜県山間部では、平年と同様に曇りや雪の日が多い。

▶ 気 温:寒気の影響を受けやすいため、平年並か低い見込み。

▶ 降水量:冬型の気圧配置が強く、低気圧や前線の影響を受けにくいため、

平年並か少ない見込み。

※気象庁ホームページ 東海地方3か月予報のURL

https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=230000&term=3month

エルニーニョ/ラニーニャ現象の経過と予測

2022年10月の実況と2022年11月~2023年5月までの見通し

Devlation

-2.0

-3.0

11/10発表 エルニーニョ監視速報(No.362)より (https://www.jma.go.jp/jma/press/2211/10a/elnino202211.html)

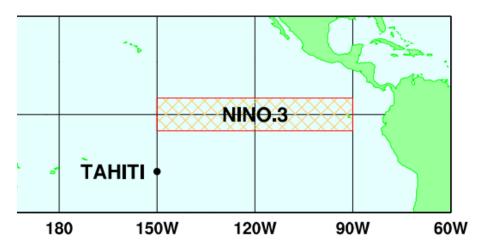
- ラニーニャ現象が続いている。
- 今後、冬の半ばにかけてラニーニャ 現象が続く可能性が高い(80%)。
- その後、ラニーニャ現象は終息に向かい、春には平常の状態となる可能性が高い(70%)。

2022

エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の5か月移動平均値
8月までの経過(観測値)を折れ線グラフで、大気海洋結合モデルによる予測結果(70%の確率で入ると予想される範囲)をボックスで示している。指数が赤/青の範囲に入っている期間がエルニーニョ/ラニーニャ現象の発生期間である。エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値はその年の前年までの30年間の各月の平均値

エルニーニョ/ラニーニャ現象の経過と予測

2022 年 10 月におけるエルニーニョ監視海域の 海面水温の基準値との差は -0.9°C (基準値は、その年の前年までの 30 年間の各月の平均値)



NINO.3: エルニーニョ 監視海域

エルニーニョ/ラニーニャ現象の発生確率

(予測期間:2022 年 9 月~2023 年 3 月)



5か月移動平均値が各カテゴリー(エルニーニョ現象/平常/ラニーニャ現象)に入る確率(%)

エルニーニョ監視海域の海面水温の基準値との差の5か月移動平均値が+0.5°C以上/-0.4°C~+0.4°C/-0.5°C以下の範囲に入る確率を、それぞれ赤/黄/青の横棒の長さで月ごとに示す。気象庁の定義では、5か月移動平均値が+0.5°C以上(-0.5°C以下)の状態で6か月以上持続した場合にエルニーニョ(ラニーニャ)現象の発生としているが、エルニーニョ監視速報においては速報性の観点から、実況と予測を合わせた5か月移動平均値が+0.5°C以上(-0.5°C以下)の状態で6か月以上持続すると見込まれる場合に「エルニーニョ(ラニーニャ)現象が発生」と表現している。

3.0

1.0

-2.0

ラニーニャ現象が日本の天候へ影響を及ぼすメカニズム



引用元∶気象庁HP

ラニーニャ現象が発生すると、西太平洋熱帯域の海面水温が上昇し、西太平 洋熱帯域で積乱雲の活動が活発となります。

このため日本付近では、

- ・夏季:太平洋高気圧が北に張り出しやすくなり、気温が高くなる傾向がある。
- ・冬季:西高東低の気圧配置が強まり、気温が低くなる傾向がある。

気象台が提供する予測資料

昨冬の気象資料

雪に対する道路利用者への呼びかけ 令和3年12月24日

- ✓ 25日夜から28日にかけて、冬型の気圧配置が強まり、岐阜県の山地を中心に断続的に雪が降り大雪となる見込みです。 26日から27日にかけては三重県の北中部で、27日は愛知県で雪が降り大雪となる見込みです。
- ✓ 大雪による立ち往生等に注意・警戒が必要です。
- √ 積雪や路面凍結による交通障害等に注意・警戒してください。
- ✓ 自動車を運転する場合には、冬タイヤの装着、チェーンの携行および早めの装着をお願いします。
- ✓ 公共交通機関においても、遅延や運休が発生するおそれがあります。
- ✓ 最新の気象情報や交通情報等に留意し、外出が必要な場合は、十分な時間的余裕を持って行動いただくようお願いします。

【今後の気象見通し】

地域	25日	26日	27日	28日
岐阜県飛騨地方		—		
岐阜県美濃地方				
愛知県			←	
三重県				
静岡県				
長野県南部				

-

警報級の大雪となるおそれのある期間

【気象概況】

- ○25日夜から28日にかけて、日本の上空に強い寒気が流れこみ、冬型の気圧配置が強まる見込みです。
- ○25日12時から26日12時までの24時間に予想される各地の降雪量は多い所で、

岐阜県 20から40センチ 三重県 5から10センチ 長野県南部 5から10センチ

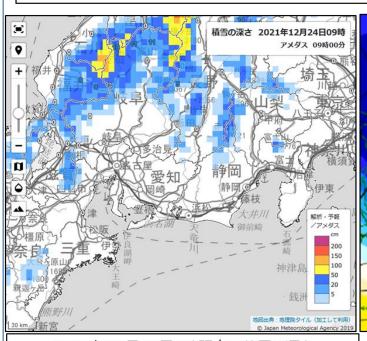
○その後、26日12時から27日12時までの24時間に予想される各地の 隆雪量は多い所で、

愛知県 5から10センチ 岐阜県 30から50センチ 三重県 10から20センチ 長野県南部 5から10センチ

その後も、28日にかけて岐阜県の山地を中心に降雪量が増える見込みです。

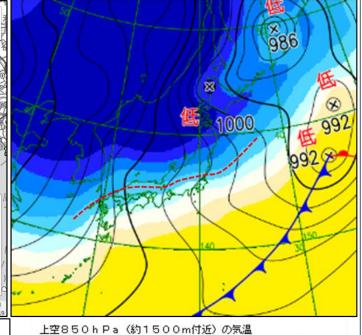
※降雪量が見込まれない場合は省略

【現在の積雪状況と予想天気図】



2021年12月24日9時現在の積雪の深さ (解析積雪深とアメダス)

24日現在の積雪は、岐阜県山地が中心。 25日夜から降雪が強まり、26日から27日には、日本海側からの雪雲の流れ込みで、岐阜県の広い範囲と三重県北中部で積雪となり、27日は愛知県でも積雪となる見込み。



-18.0 -15.0 -12.0 -9.0 -6.0 -3.0 0.0 3.0 ℃ -----上空約1500mの気温-9℃(平地で大雪となる目安)

地上予想天気図と 850hPaの気温予想(着色) (2021年12月25日21時)

| 25日夜以降は、上空に寒気が流れ込み、 | 26日夜には上空約1500mの気温−9℃ | 以下の領域は、本州の太平洋側まで南下。

大雪警報・注意報基準(東海4県と長野県南部)

府県予報区	一次細分区域	市町村等をまとめた地域	警報基準(12時間隔	- 4雪の深さ:cm)	注意報基準(12時間	降雪の深さ: c m)
岐阜県	美濃地方	岐阜・西濃	平地:20	山地:50	平地:10	山地:30
		東濃	平地:20	山地:20	平地:10	山地:10
		中濃	平地:30	山地:50	平地:10	山地:30
	飛騨地方	飛騨北部	平地:30	山地:50	平地:20	山地:30
		飛騨南部	30		20	
	西部	尾張東部	平地:10	山地:20	平地:5	山地:10
		尾張西部	10		5	
		知多地域	10		5	
愛知県		西三河南部	平地:10	山地:20	平地:5	山地:10
发 州尔		西三河北西部	平地:10	山地:20	平地:5	山地:10
		西三河北東部	平地:10	山地:20	平地:5	山地:10
	東部	東三河北部	平地:10	山地:20	平地:5	山地:10
		東三河南部	10		5	
	北中部	中部	10		5	
		北部	20		5	
三重県		伊賀	10		5	
	南部	伊勢志摩	10		5	
		紀勢・東紀州	10		5	
	中部	中部南	平地:10	山地:20	平地:5	山地:10
		中部北	20		10	
	伊豆	伊豆北	平地:10	山地:20	平地:5	山地:10
静岡県		伊豆南	平地:10	山地:20	平地:5	山地:10
ᄍᄤᇺ	東部	富士山南東	平地:10	山地:20	平地:5	山地:10
		富士山南西	平地:10	山地:20	平地:5	山地:10
	西部	遠州北	平地:10	山地:20	平地:5	山地:10
		遠州南	平地:10	山地:20	平地:5	山地:10
長野県	南部	上伊那地域	20		10	
		木曽地域	20		10	
		下伊那地域	20		10	

大雪特別警報

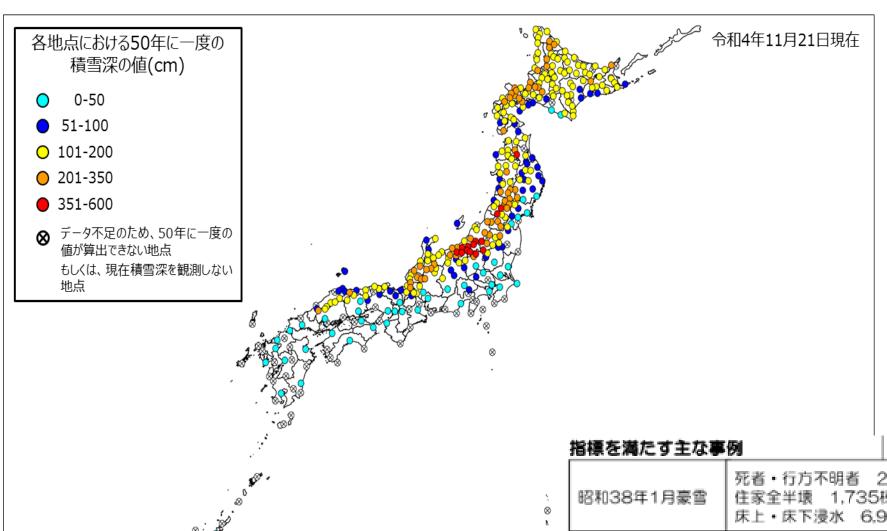
大雪特別警報の発表基準

数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合に発表



具体的には

府県程度の広がりをもって50年に一度の積雪深となり、かつ、その後も 警報級の降雪が丸一日程度以上続くと予想される場合に発表



主な地点の50年に一度の積雪深(cm) (令和4年11月21日現在)

高山:111

白川:343

岐阜:42

関ケ原:103

名古屋:23*

津:12*

*が付いている地点は積雪深ゼロの年も あり、50年に一度の値の信頼性が低いの であくまでも参考値。

昭和38年1月豪雪	死者・行方不明者 231人 住家全半環 1,735棟 床上・床下浸水 6,978棟
	范老,行方不明老 150 k

住家全半壊 466棟

床上・床下浸水 8.097棟

昭和56年豪雪

令和4年度 大雪時の道路交通確保の対策方針

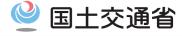
関係4者 合同記者説明会

令和4年11月25日

中部地方整備局



大雪時の道路交通確保の対策方針



■ 大雪時の道路交通確保対策に対する考え方の転換

大雪時の道路交通確保に対する考え方を 「出来るだけ止めない」から「人命最優先に車両滞留を徹底的に回避」に転換

■ 道路利用者等への事前の情報提供

大雪が予測される降雪の3日前から出控えや広域迂回を要請する情報を提供

3日前~ 不要不急の外出の自粛や広域迂回の呼びかけ

1日前~ 通行止め区間、日時、迂回経路などの情報提供

周知・新聞、TV、ラジオ、HP、SNS、道路情報板、デジタルサイネージ等

•道路利用者、運送業、荷主、観光業の方へ

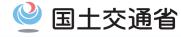
■ 高速道路との同時通行止め

高速道路と並行する国道などの同時通行止めを躊躇なく実施 広範囲での通行止めと広域迂回の呼びかけを実施

■ 大雪時の道路交通確保の体制(中部地方)

4者(中部地方整備局、中部運輸局、名古屋地方気象台、NEXCO中日本)を中心 に各県情報連絡本部と連携し大雪時の道路交通確保対策を実施

大雪時の道路交通確保に対する考え方の転換



「出来るだけ止めない」から「人命最優先に車両滞留を徹底的に回避」に転換

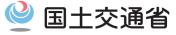
<大雪のため、大規模な立ち往生が発生 2,000台以上>



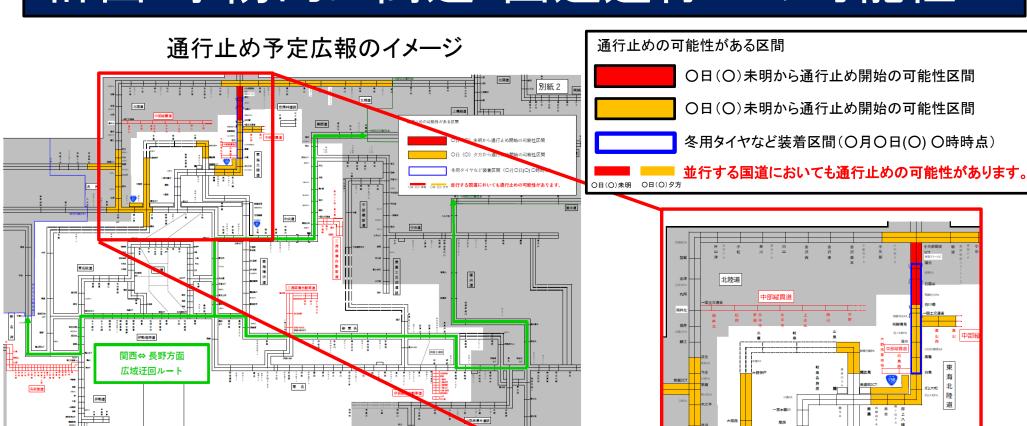
〇令和2年12月、関越自動車道で、2,000台を超える大規模な立ち往生が発生し、車両の移動および通行止め解除に2日以上要しました。

2

道路利用者等への事前の情報提供



大雪時は大規模な車両滞留を回避するため計画・予防的に高速・国道通行止の可能性



〇事前に通行止め予定、広域迂回を案内

【同時通行止め】国道21号(関ヶ原)と名神高速



- 〇12月25日から28日にかけて滋賀県では記録的な大雪となり、北陸道、名神高速、 国道8号で通行止めを実施(国道8号では一時的に立ち往生車両が発生)
- 〇国道21号(関ヶ原)でも名神との同時通行止めを行い、国道8号(滋賀県)への流入 抑制と集中除雪を実施し、交通障害の発生を回避
- 〇その際、新名神(国道258号経由)への広域迂回の誘導を図り、東西交通を確保



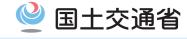
■高速と国道の同時通行止めにより、スタック車両による大規模な交通障害の発生を回避

【広域迂回】国道19号(塩尻~中津川)通行止め 国土交通省

- ○国道19号(塩尻~中津川) 1月13日14:30~14日4:00通行止めし、広域迂回を実施
- 〇大規模(約85km)な通行規制により、通過交通を排除し集中除雪を実施
- ○通勤時間帯までに交通解放を行い、大規模な交通障害を防止



大雪時の道路交通確保の体制(中部地方)



4者及び県等の関係機関と連携し対応

■気象情報■ 名古屋地方気象台 連携

■道路管理者■ 中部地方整備局 NEXCO中日本 連携



■運送·観光■ 中部運輸局





道路情報

- •記者発表
- •Twitter など



道路利用者•荷主

運送事業者 観光事業者

資料3

2022年度 NEXCO中日本の雪氷対策

令和4年11月25日

中日本高速道路(株) 名古屋支社



目次



1.	2022年度雪氷期における取り組みの強化	P2
2.	事前準備から早期通行止め解除に向けた流れ	Р3
3.	関係機関との連携強化	P4
4.	滞留車両が発生した場合の支援体制の構築	P5
5.	予防的通行止め実施時の集中除雪	P6
6.	適時適切な情報提供の取組み	P7~12

1. 2022年度雪氷期における取り組み



NEXCO中日本では、昨年同様「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」を基本的な考え方として対応いたします。

この基本的な考え方に基づき、短期間の集中的な大雪による車両の滞留が 予見される場合には、予防的通行止めを行い、集中除雪を実施し、早期解除 を目指します。また、高速道路と並行する国道などの同時通行止めを躊躇な く実施するために引き続き関係機関との連携を図り、滞留車両が発生した場 合の支援体制を構築するとともに、事前広報の強化によりお客さまへ適時適 切に情報の提供などを実施します。

2. 事前準備から通行止め解除に向けた流れ



≪事前準備≫

1. 啓発広報の強化

○出控え、広域迂回の呼びかけ、予防的通行止めの実施など を広域的に広報

2. 除雪体制の確保

○必要除雪能力を把握し、応援派遣調整

3. 自力走行不能車両の早期排除車両の事前配備

○レッカー、トラクターショベル等の事前配備

≪大雪降雪時の対応≫

4. 路面状況の適切な監視

○CCTVカメラ、現場巡回の強化による適切な監視の実施

5. 予防的通行止めの必要性判断、調整

○除雪能力を超過する降雪が継続する予測がされた場合、自力走行不能車両発生の可能性等から必要性を判断し、関係機関調整

6. 予防的通行止めの実施・集中除雪の実施

7. 通行止め下における緊急車両通行

○要請に応じ、通行止め下における緊急車両の通行車線を確保

8. 関係機関調整、通行止め解除

○降雪状況に応じて、関係機関と調整のうえ通行止め解除

3. 関係機関との連携強化



■高速道路と並行する国道などの同時通行止めを躊躇なく実施するため、 引き続き関係機関との連携を図ります。<継続>

短期間の集中的な大雪により車両の滞留が予見される場合には、幹線道路上の大規模な車両滞留の回避を目的に、降雪前・降雪時・滞留発生時などの各段階の行動計画(タイムライン)を策定するなど、関係機関との連携を図っています。

交通状況、降雪状況に応じて躊躇なく高速道路と並行する一般国道などと同時に通行止めをおこないます。

4. 滞留車両が発生した場合の支援体制の構築



■滞留状況を正確に把握するための体制や乗員保護の支援体制を確保します <継続>

国が「大雪に関する緊急発表」をおこなうような異常降雪時には、複数 箇所で同時に大規模な滞留車両が発生することも想定し、滞留状況把握の ための人員を確保し、あらかじめ現地へ応援派遣をおこないます。

さらに大規模な滞留車両の発生により、滞留の解消まで長時間におよぶ可能性がある場合には、滞留車両の乗員保護のため、関係機関と連携して飲料水や食料などの物資を適切に提供するとともに、必要に応じて避難所やホテルなどへの一時避難を支援します。

5. 予防的通行止め実施時の集中除雪



■降雪中は除雪作業を実施しています。予防的通行止めを行った場合は、 戦略的に除雪を行うなど、通行止めの早期解除を目指します。

除雪車両による本線除雪



トンネル坑口回り積雪の除去





料金所に積もった雪の除去



路肩側へ堆積した雪の除去





6. 適時適切な情報提供の取組み



■大雪が予測される降雪の3日前から出控えや広域迂回などを要請する情報を提供します<継続・強化>

大雪が予測される場合

- ・3日前:不要不急の外出の自粛や広域迂回の呼びかけを実施します。
- ・1日前:通行止め区間、日時、迂回ルートなどの情報提供を実施します。 (緊急テレビCM、WEBサイト、SNS等)

予防的通行止めを行う場合

・高速道路をご利用のお客さま、物流事業者や荷 主に輸送のスケジュールやルートの変更の検討 を繰り返し促します。

■さまざまな媒体による広報の実施

- ・WEBサイト
- ・プレスリリース (FAX送信)
- ・テレビCM
- ・iHighway中日本 (Webサイト)
- · Twitter (NEXCO中日本名古屋支社)
- ・ドラキャス(スマホ版/エリア版)
- ・デジタルサイネージ (SA・PA設置)
- 除雪NAVI
- ・高速道路および一般道上の情報板
- ・ハイウェイラジオ
- 目で見るハイウェイテレフォン
- ・みちラジ

など

①WEBサイト・プレスリリース・テレビCM

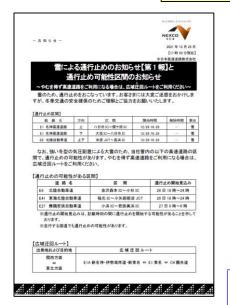


■大雪事前広報や冬用タイヤ装着に関する安全啓発広報の実施<継続・強化> 関西地区において、新たにテレビCMによる出控え広報を開始します。

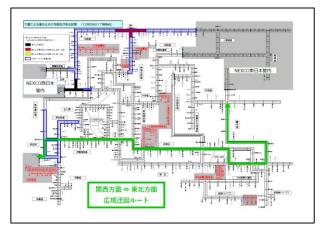
- ・大雪に関する広報は3日前から開始(WEBサイト、プレスリリース)
- ・通行止め予測区間は、通行止め開始見込の24時間前から広報を開始し、以降6時間毎に更新
- ・雪道の安全啓発に関するテレビCMを11月15日から放送開始し、大雪の予測時は、3日前から

出控えをお願いする臨時の内容に差し替えて放送します。

プレスリリース・WEBサイト(例)



大雪に関するプレスリリース



WEBサイトでの通行止め予測区間の広報

【TVCMのポイント】

- (1)早めの冬用タイヤの装着、タイヤチェーン携行(初冬期)
- ②冬用タイヤでもチェーンの準備を(厳冬期)
- ③出控えの呼びかけ(大雪降雪予測時)

テレビCM (例)



通常気象時

② i Highway中日本



アイハイウェイ

■ iHighway中日本による広報(https://c-ihighway.jp/web/)<継続>



3Twitter



■ Twitterによるきめ細かな情報提供 <継続>

ツイート例





【情報提供内容】

- ①通行止め開始時・解除時の情報
- ②ランプ閉鎖時・解除時の情報(JCT・IC・スマートICを含む)
- ③通行止めの状況(滞留発生時の先頭の状況など)
- ④車線規制による作業開始時・終了時の情報(つらら落としなど)
- ⑤天候の見込みの情報(天候急変時など)
- ⑥お客さま支援状況
- ⑦その他、お客さまにお伝えする情報 (本線などで滞留し情報収集が困難なお客さまなどへの情報提供を意識する)

4みちラジ



■スマートフォンアプリ「みちラジ」による情報提供 <強化>

ハイウェイラジオで提供している交通情報をスマートフォンからでも入手できる情報通信 アプリ「みちラジ」





情報提供のイメージ

- ●「気象」「冬用タイヤ必要」などの情報に関しては、上半期中に配信サービス提供予定
- 臨時情報(20秒分)を活用して啓発広報を実施

【広報内容(案)】

「ノーマルタイヤ車のスタック発生による通行止めが多発しています。ノーマルタイヤ車で 積雪・凍結路面を運転することは、道路交通法違反で罰金・反則金が課せられることがあります。 必ず冬用タイヤを装着のうえ走行してください。」

⑤MIB (マルチインフォメーションボード)



■MIB(マルチインフォメーションボード)による情報提供<強化>

「ノーマルタイヤ車で積雪・凍結路面を運転することは、道路交通法違反です。」ポスター 支社管内のSA・PAのMIB(全78箇所)で掲示。大雪予報時は通行止めの可能性などの注意喚起広報も実施。

道路名(78)	設置箇所
東名(10)	赤塚PA(上/下)、美合PA(上/下)、豊田上郷SA(上/下)、東郷PA(上/下)、 守山PA(上/下)
新東名(3)	岡崎SA(集約)、長篠設楽原PA(上/下)
名神(10)	尾張一宮PA(上/下)、養老SA(上/下)、伊吹PA(上/下)、多賀SA(上/下)、 湖東三山PA(上/下)
新名神(3)	土山SA(集約)、鈴鹿PA(上/下)
中央道 (17)	内津峠PA(上/下)、虎渓山PA(上)、屛風山PA(上/下)、恵那峡SA(上/下)、神坂PA(上/下)、阿智PA(上/下)、座光寺PA(上/下)、駒ケ岳SA(上/下)、小黒川PA(上/下)
東名阪道(6)	大山田PA(上/下)、御在所SA(上/下)、亀山PA(上/下)
伊勢道(4)	安濃SA(上/下)、嬉野PA(上/下)
東海北陸道(10)	関SA(上)、長良川SA(下)、ぎふ大和PA(上/下)、ひるがの高原SA(上/下)、 松ノ木峠PA(上/下)、飛騨河合PA(上/下)
伊勢湾岸道(4)	刈谷PA(上/下)、湾岸長島PA(上/下)
北陸道(2)	神田PA (上/下)
東海環状道(9)	鞍ヶ池PA(上/下)、せと赤津PA(上/下)、五斗蒔PA(上/下)、 美濃加茂SA(集約)、岐阜三輪PA(上/下)



ノーマルタイヤ車への啓発



名古屋支社管内 MIB (ポスター用)の設置箇所 (2022年10月1日現在)

資料 4

国土交通省中部運輸局

大雪時の立ち往生防止対策

- ①運送事業者及び使用者向けリーフレット 「雪道での立ち往生に注意!」 ~大型車の冬用タイヤとチェーンについて~
- ②運送事業者向けリーフレット 「冬用タイヤの溝深さに注意!」 ~大型車の冬用タイヤに関する使用上の注意点~



雪道での立ち往生に注意!

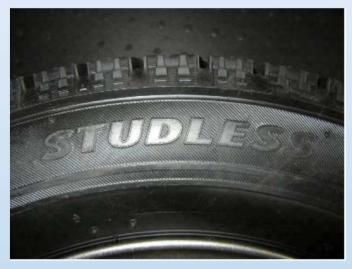
-大型車の冬用タイヤとチェージについて-



- 道路で大型車が立ち往生すると、**深刻な交通渋滞や通行止め** を引き起こします。
- 積雪・凍結路では、**必ず適切な冬用タイヤを装着**するととも に、**チェーンの携行・早めの装着**を心掛けてください。
- 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監査を行い、 講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象となります。

冬用タイヤの選び方

- オールシーズンタイヤは、ちらつく程度の降雪で**路面と一部** 接触可能な積雪状況を想定したタイヤです。
- 路面を覆うほどの過酷な積雪路・凍結路においては、スタッドレス表記(国内表記)又はスノーフレークマーク(国際表記)が表示されている冬用タイヤを全車輪に装着してください。



スタッドレス表記の例



スノーフレークマーク タイヤの側面に表示 されています。

冬用タイヤの使用限度

溝深さが50%以上残っていることを「プラットホーム」で 確認しましょう。(一部海外メーカー品は除く)

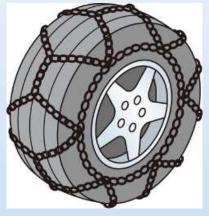


残り溝深さが「プラットホーム」に達している 状態。冬用タイヤとして使用できません。

チェーンの効果

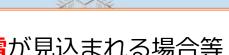
- チェーンを**駆動輪に装着**すると、冬用タイヤより積雪・凍結 路での**発進・登坂性能が向上**します。
- チェーンのサイズや締め方が不適切な場合、タイヤとの間で 滑りが生じ効果が得られません。





大型車用金属チェーン

チェーンの携行・装着



- ★ 大雪警報が発表されるなど相当量の積雪が見込まれる場合等にはチェーンを携行してください。
- 降雪時には、**立ち往生する前に早めのチェーン装着**を心掛けましょう。立ち往生した後の装着は極めて困難です。

性能限界

- 冬用タイヤ及びチェーンのいずれも**性能限界があり、万能ではありません**。例えば、車両の**バンパーに接触するような新雪の深い積雪路**では走行困難です。
- 運行前に道路・気象情報を確認し、**運行の可否や経路を検討**してください。

立ち往生が発生しやすい車両

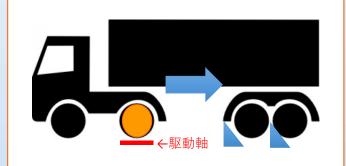
■ 以下の特徴を持つ車両は、積雪路等において特に立ち往生が 発生しやすい傾向にあるので注意が必要です。

軸駆動車



二軸駆動車に比べて駆動軸が 空転しやすい。

連結車



トレーラー付近の積雪により 走行抵抗が増大。

空荷状態



駆動軸に十分な荷重がかから ず、発進性能が低下。

年式の古い車両



トラクションコントロール※ 等の機能が搭載されていない。

※発進時等に駆動輪の回転を制御し空転を低減する装置

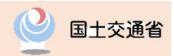
「自動車を安全に使うためには」→

自動車を安全に使うための注意点を発信 しています。









冬用タイヤの溝深さに注意!

- -大型車の冬用タイヤに関する使用上の注意点-
- ▶ 道路で大型車が立ち往生すると、深刻な交通渋滞や通行止めを引き起こします。積雪・凍結道路においては、必ず適切な を用タイヤを装着するなど適切な措置を講じてください。
- ▶ 交通渋滞等を引き起こした運送事業者等には監査を行い、 講じた措置が不十分と判断されれば処分の対象となります。
- 積雪・凍結道路では、冬用タイヤを全車輪に装着
- ⇒ 冬用タイヤは全車輪に装着しないと**挙動が安定しません**。
- 冬用夕~

冬用タイヤの**溝深さが新品時の50%以上**あることを確認

⇒ 溝深さ50%を示す「プラットホーム」で、運行前に必 ず確認してください。(一部海外メーカー品は除く)



積雪・凍結道路での運行前に、<mark>運転上の注意点を把握</mark>

- ⇒ 積雪・凍結道路においては、
 - ・低速ギアでゆっくり発進
 - ・坂道を登り終わるまでギアチェンジしない

など、運転操作の注意が必要です。

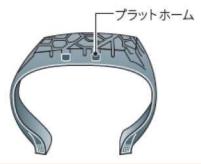
一般社団法人 日本自動車タイヤ協会→



プラットホームとは?

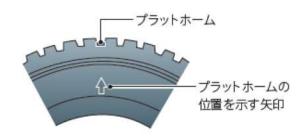
●プラットホームとは

日本国内における道路交通法施行細則等によって 定められた冬用タイヤとしての使用限度の目安となる新品時の溝深さから50%の位置にあるゴムの盛り上がりを設置した部分をいいます。



プラットホームの位置

プラットホームの位置を示す☆がタイヤの両側面に それぞれ周上4ヶ所以上に表示されています。







残り溝深さが「プラットホーム」に達している 状態。冬用タイヤとして使用できません。

運転上の注意点

- ①低速ギアでゆっくり発進し、タイヤを空転させない。
- ②急坂道では登り終わるまで低速ギアを使用し、ギヤチェンジしない。
- ③急発進、急加速、急旋回及び急停止は避ける。柔らかくブレーキ。
- ④カーブに入る前に減速する。速度は控えめ。十分な車間距離。
- **⑤冬用タイヤの性能には限界があるので、運転時は細心の注意を払う。**
- ⑥冬用タイヤを乾燥路や湿潤路で使用する場合は走行速度に注意する。